

山口労働局長がベストプラクティス企業 「井森工業株式会社」 への職場訪問を実施しました。

山口労働局（局長 なだ ゆたが 名田 裕）では、「過重労働解消キャンペーン」の取組の一環として、労働局長が時間外労働等の削減に向けて積極的に取り組む企業（ベストプラクティス企業）を訪問し、当該企業の取組を広く紹介することとしています。

本年度は、時間外労働や休日労働が多く、また令和6年4月から時間外労働の上限規制が適用となる建設業の中から、井森工業株式会社を選定いたしました。



職場訪問を実施した「柳井市複合図書館新築工事」現場の様子

井森工業株式会社

所在地 山口県柳井市伊保庄4907番地
会社概要 昭和2年創業。総合建設業を営んでおり、土木工事、建築工事、地盤改良工事等の施工、管理を行っている。
労働者は企業全体で110名。本社の他に東京支店、岩国営業所、大島営業所がある。

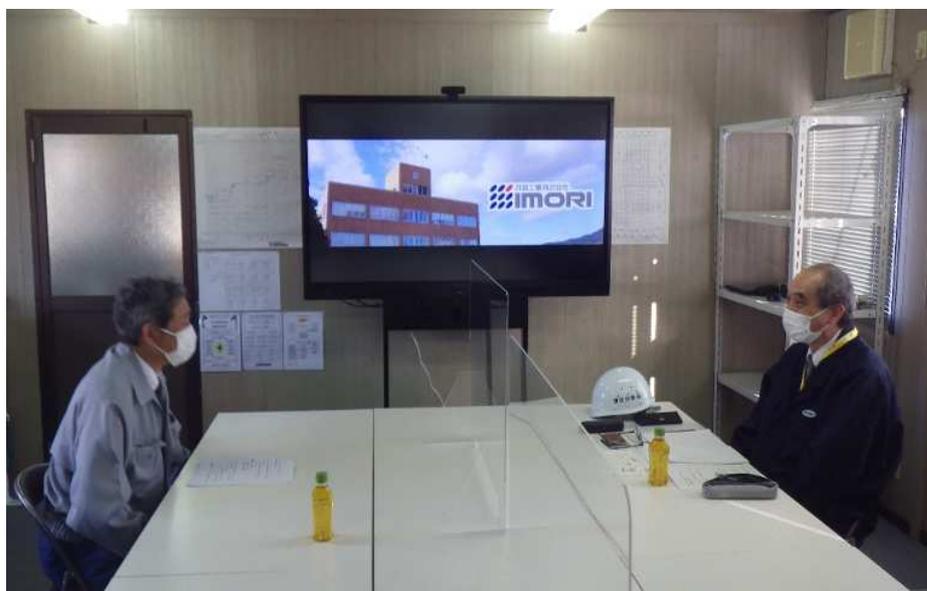
○社長と労働局長の対談

令和4年11月25日、名田局長は井森工業株式会社が施工している「柳井市複合図書館新築工事」の現場を訪問し、井森工業株式会社 ^{よしぎまさひろ} 吉崎雅弘社長との対談を実施しました。

社長によると、同社では、20数年前から1年単位の変形労働時間制による週40時間制を導入、年間休日も110日としました。しかし、導入当初は年間カレンダーで休日としていても、現場の職員は休日出勤をせざるを得ない状況が続いたとのことでした。

その後、優秀な人材の確保や若者の定着には労働時間削減等の働き方改革が必要であることを認識し、現場職員があらかじめ定められた休日、特に土曜日も休めるよう、受注、施工管理の見直しに注力されました。

ICT技術によるドローンと専用のソフトウェアを活用した現場管理等を積極的に行うほか、人材確保のために女性技術者を採用し、女性も働きやすい職場環境の構築に努める等の取組を実施し、時間外労働を月10時間程度、休日出勤に至っては、ほぼ皆無とすることに成功しました。



対談を行う吉崎社長（左）と名田局長

○女性技術者との対談

訪問現場で現場監督として働く^{ふくながななみ}福永七海さんにも話を伺いました。入社6年目となる福永さんは、井森工業で久しぶりに採用された女性技術者です。

先輩に女性の技術者はおらず、それゆえのご苦労もあったようですが、働きやすい環境整備に貢献したこともあり、彼女に続いて4名の女性技術者が入社し、活躍しています。

今後は、結婚、出産、育児といった様々な場面でも働き続けられるようなスキルを身に着けたいとの目標を話してくれました。



対談を行う福永さん（左）と名田局長

○現場の巡回

対談終了後は現場の巡回を行い、報道機関のインタビューに応じました。



インタビューを受ける吉崎社長



インタビューを受ける福永さん